【生駒市】

端末整備・更新計画

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 令和６年度 | 令和７年度 | 令和８年度 | 令和９年度 | 令和10年度 |
| 1. 児童生徒数 | 9,307 | 9,070 | 8,982 | 8,660 | 8,310 |
| 1. 予備機を含む 整備上限台数 | 0 | 10,670 | 0 | 0 | 0 |
| 1. 整備台数 （予備機除く） | 0 | 9,070 | 0 | 0 | 0 |
| 1. ③のうち 基金事業によるもの | 0 | 9,070 | 0 | 0 | 0 |
| 1. 累積更新率 | 0% | 100% | 100% | 100% | 100% |
| 1. 予備機整備台数 | 0 | 724 | 0 | 0 | 0 |
| 1. ⑥のうち 基金事業によるもの | 0 | 724 | 0 | 0 | 0 |
| 1. 予備機整備率 | 0% | 7.39% | 0% | 0% | 0% |
| （端末の整備・更新計画の考え方）  1人1台端末の利活用を最大限進めるために次期端末更新においては本市の利活用計画に最適なOSを選択することを目指した。GIGA第１期で採択したChromeOSからiPadOSへ変更を行ったため、小学校・中学校ともに令和７年度中の一括更新を予定する。  また、現行機のNEC Chromebook Y2モデルは令和3年度にWi-Fi LANボードのリコールが発生し、現在も年間数十件のWi-Fi不良が報告される。フル充電状態におけるバッテリーの稼働時間予測も令和2年の導入期から比較してメーカースペック11.2時間の70%以下まで減少している端末が本市独自の抽出400台の調査で95％を超えている。GIGA第1期端末について、更なるバッテリー劣化が予測される点でも令和7年度の一括更新が更新計画として最適と考える。  予備機については、日々の持ち帰りを推進すると、学校への持ち込み忘れの増加が見込まれる。各学級に２台の予備機の常備を想定し、端末の持ち込み忘れにより学びが停滞することのないよう整備する。整備予定のR7年度の予定学級数が362のため362学級×２台の724台の予備機の整備を見込む。  （更新対象端末のリユース、リサイクル、処分について）  第1期端末は、令和６年１２月の時点で1,061台の破損端末を抱える。また、バッテリー劣化が全体的に進んでいることを鑑みると、学校に第1期端末を残すことは管理や修理の面で負担となることが予想される。また、OS変更による一括更新を予定しており、第2期の更新端末によって実現する学習活動を第1期端末で補うことが難しいと考える。そのため、本市では第1期端末は全て処分することとし、第2期の端末更新において、十分な予備機を確保することで１人１台端末による学習活動を保障する。処分に際しては、適切なデータ消去、可能な限りの再資源化を重要な事業者選定項目として設定し、適切に行う。  （更新対象端末のリユース、リサイクル、処分について）  〇対象台数：10，165台  〇処分方法  ・資源有効利用促進法の製造事業者に再使用・再資源化を委託 ：10,165台  〇端末のデータの消去方法  ・処分事業者へ委託する  ・事業者との協議によりデータ消去操作の端末上操作を児童生徒や教職員が実行することも想定する。  〇スケジュール（予定）  　令和７年１２月　１人１台端末の更新及び処分事業者選定  　令和８年 ３月　現行端末の完全利用停止  　令和８年 ４月以降　使用済端末の事業者への引き渡し  〇その他特記事項  　OSの変更のため、端末更新に付随するパッケージ内での端末処分は想定せず、本市独自で処分事業者を選定し、委託する予定とする。 | | | | | |